

平成28年 2 月 青葉区議員団会議 会議録	
開催日時	平成28年 2 月 8 日 (月) 午後 4 時15分～ 5 時15分
場 所	青葉区役所 4 階会議室
出席者	<p>【議 長】 行田議員</p> <p>【議員：7名】 青木議員、大貫議員、小島議員、中山議員、藤崎議員、山下議員 横山議員</p> <p>【説明局員】(青葉区：30名) 小池恭一区長、大野敏美副区長、関谷寿男青葉消防署長、 勝島聡一郎福祉保健センター長、小嶋哲夫福祉保健センター担当部長、 榎青葉土木事務所長 ほか関係職員</p> <p>(こども青少年局：2名) 細野こども福祉保健部長、菅野児童施設担当課長</p> <p>(神奈川県：1名) 大野教育委員会教育局支援部特別支援教育課副課長</p>
次 第	<p>1 報告事項</p> <p>(1) 平成28年度青葉区内における主な局予算事業について (資料1・区政推進課)</p> <p>(2) 第3期青葉区地域福祉保健計画について (資料2・福祉保健課)</p> <p>(3) 児童養護施設「横浜中里学園(仮称)」の整備状況について (資料3・こども青少年局こども家庭課)</p> <p>(4) 横浜北部方面特別支援学校(仮称)の整備について (資料4・神奈川県教育局特別支援教育課)</p>
報告事項 (1) 平成28年度青葉区内における主な局予算事業について	
発 言 の 要 旨	<p>横山議員 13ページの交通局のあざみ野駅の下りエスカレーター増設について、 どこの場所か。</p> <p>小池区長 市営地下鉄の改札を出て左にある、東急田園都市線へ上がる階段のエ スカレーターだが、上りのエスカレータは既にあるので、今回下りのエ スカレーターも整備する事業になる。</p> <p>横山議員 これは市営地下鉄に限らずどこでもそうだが、エスカレーターを利用 する人が左右のどちらかを空けている。 特に交通局は「ちゃんとベルトにつかまって立ち止まってください」 と言っているにもかかわらず、空けている。 片側にしか乗らないと、エスカレーターに大きな負荷がかかって故障 の原因にもなる。輸送力もそこで半分になってしまうから、歩いて上り 下りする人のためにわざわざ片側を空けるような配慮は本来してはい けないのだが、何かそういう配慮が必要だという風潮になっている。 日本全体がそうなってしまうからなのだろうが、驚くことに、</p>

<p>発言の 要旨</p>	<p>外国にもその風習が輸出されてしまっていて、困ったものだなと思っている。</p> <p>片側を使わないのだったら、最初から1列だけのエスカレーターでいいのではないか。</p> <p>交通局には私からも言うが、半分でいいのではないかというようなことを青葉区からも言ったほうがいいと思う。</p> <p>藤崎議員 1 ページ目の総務局の1「地域の防災担い手育成事業」について、防災に限らず、担い手の育成ということが、地域にとっては非常に大きな課題となってくる。</p> <p>現時点で区として具体的にこういうふうに取り組みたいというものはあるか。</p> <p>折戸危機管理 担当係長 地域の防災担い手育成事業は、基本的に自治会・町内会レベルの町の防災組織に対して危機管理室が研修を行うというプログラムである。</p> <p>実際に、昨年の研修を受講したみすずが丘地区の方からは、地区防災計画を作りたいというようなご相談も受けている。</p> <p>こうした研修の実施にあわせて、区役所も地域の実情にあわせてそれぞれの取組を支援していくことになる。</p> <p>区に必要な予算については、自治会・町内会からどうのご相談があるかによっても変わってくる。</p>
<p>報告事項（2）第3期青葉区地域福祉保健計画について</p>	
<p>発言の 要旨</p>	<p>(特になし)</p>
<p>報告事項（3）児童養護施設「横浜中里学園（仮称）」の整備状況について</p>	
<p>発言の 要旨</p>	<p>横山議員 本来であれば両親の愛情に生まれ、両親のもとで生活することが理想ではあるが、いろいろな事情により施設で過ごす子供達を、地域の子供達として、青葉区の子供達として、青葉区で育ていける仕組みをこども青少年局出身の区長を中心にぜひ構築していただきたい。</p> <p>まず、この施設の名称はどのようになるのか。</p> <p>細野こども青 少年局こども 福祉保健部長 今後、法人と相談をしながら、青葉区にふさわしい名前を選定したいと考えているが、現段階では未定である。</p> <p>横山議員 親がいなかったり、いても一緒に暮らせなかったりする子供は、経済的な理由から勉強が遅れてしまったり、生活態度が乱れてしまったりする割合が高いと統計的には言われている。</p> <p>一方で、このような施設では規則正しい生活を送ろうと思えば送れる</p>

<p>発言の 要旨</p>	<p>し、大人達もいるわけで、勉強を本当にやろうと思えばできる環境が整っている。</p> <p>子供達の負の連鎖を断ち切る意味でも、しっかりと学習態度を身につけて進学できるような仕組みづくりもしていく必要があると思うが、どうか。</p> <p>細野こども青少年局こども福祉保健部長 子供達にとっては、この施設を出た後にどういう生活を送れるか、どれだけ勉強がきちんとできて、高校に進学できるか、または大学に進めるかということは、非常に大きなことだろうと考えている。</p> <p>これから法人と運営のマニュアルなどを作っていく作業に入っていくが、その中で、先生がおっしゃったようなことをきちんと踏まえながら、学習環境を整えていくというようなことに配慮していきたい。</p> <p>横山議員 人間万事塞翁が馬で、何で自分だけこんな環境なのかと思うと非常に後ろ向きな生活になってしまうかもしれないが、多くの子供達と共に、学習の環境が整ったところで能力を伸ばして行こうと思えば、前向きに暮らせるということもあると思う。</p> <p>これは市の事業ではあるけれども、区で本当に地域の子供達を支えられるような仕組みを、ぜひ青葉区として作ってほしいと思う。</p> <p>区長の決意のほどを伺いたい。</p> <p>小池区長 私もこども青少年局に在籍したときに、数年間関わってきた事業でもある。今のご意見をきちんと頭に入れて、こども青少年局と連携していきたい。</p> <p>横山議員 例えばホストファミリーの仕組みをつくったり、いろいろ考えられることはあるかと思うので、よろしくお願ひしたい。</p> <p>山下議員 この歴史ある中里学園は、当初は県の施設で、廃止されるという話があったが、県議会の小島先生の一般質問から流れが変わり、横浜市で運営することになった。</p> <p>児童養護施設は、ともすれば迷惑施設と捉えられがちで、こういう施設を整備しようと思うと、総論は賛成だがうちの隣は勘弁してほしいという話が結構出る。</p> <p>中里学園が今回特別支援学校になるにあたり、工事についての苦情はないとの説明が先ほどあったが、施設に対しての懸念等は周辺から出ていなかったのか。</p>
-------------------	--

<p>発言の 要旨</p>	<p>細野こども青 少年局こども 福祉保健部長</p>	<p>これまで、町内会長を始め地域のみなさんのところに何回も足を運び、お話をさせていただいた。</p> <p>ただ、この施設に関しては、ここに作られては困るとか、何か今まで問題があったというようなお話は全くなかった。</p> <p>例えば、この辺には木を植えたほうがいいのか、この辺には目隠しを作ったほうがいいのかではないかとか、そういうご指摘やアドバイスをいただいたというのが実情で、本当に感謝している。</p>
	<p>山下議員</p>	<p>施設に入る子供のうち学齢期の子供達に関してだが、この施設の立地は、みたけ台小学校、みたけ台中学校の学区になる。</p> <p>今回、市が運営する学校になるということで、地元の小中学校ともより一層連携しやすくなると思うが、そのあたりの連携についてどういう体制でやっていこうと考えているのか。</p>
	<p>岡本学校連 携・こども担 当課長</p>	<p>中里学園が以前の規模で運営されていた当時は、県の教員の加配が地元の小中学校に来ていたと聞いている。今回の改修に合わせて、そういう体制整備も必要だろうと考えている。</p> <p>みたけ台小学校・みたけ台中学校の校長先生は、中里学園が以前の規模で運営されていた当時、教員として来られていたということなので、そのあたりのノウハウを踏まえて、学校としても取り組んでいくと聞いている。</p> <p>青葉区としても学校の支援・連携を図っていきたい。</p>
	<p>大貫議員</p>	<p>私は谷本中学校の卒業生だが、私の友達には中里学園を卒業した子が何人かいる。</p> <p>一緒に生活してきた立場として、地元の学校との連携は非常に大切だと思っている。子供達がどうやってコミュニティー・仲間意識を作っていくか、子供達にとって非常に大切な時期でもあり、学校との連携については本当に努力が必要だと思う。</p> <p>それには周囲の皆さんの理解が一番大事だと思うし、特別支援学校について変なふうの特徴づけて何だかんだやるのも問題はあるが、やはり周辺の人達には正しい認識を持っていただき、一緒に育てていこうという立場に立って学校や子供達を見てほしいと思う。</p>
	<p>細野こども青 少年局こども 福祉保健部長</p>	<p>これからはやはり隠すということではなくて、地域と一緒に歩んでいける施設となるよう、きちんと取り組んでいきたいと思っている。</p>
	<p>青木議員</p>	<p>私はみたけ台中学校出身である。大分昔のことになるがその当時のことを考えると、中里学園は割とオブラートに包まれた存在だった。</p>

<p>発言の 要旨</p>	<p>子供達にとって、そういう何かちょっとわからないものがそこにある、というような存在だったことは、今思えば違和感がある。</p> <p>今もそうなのかわからないが、そういう形であってほしくないと思う。</p> <p>それだけに、地元の学校との連携は本当にとっても大事で、どういう形がいいのかは大変悩ましく難しい問題だが、子供達を含めて連携できるような取組を、ぜひお願いしたい。</p>
<p>報告事項（４）横浜北部方面特別支援学校（仮称）の整備について</p>	
<p>発言の 要旨</p>	<p>山下議員 この横浜地区において、特別支援学校のニーズは非常に高い。特に北部では今は麻生に随分お世話になっていて、今回中里ができることによって、かなりのエリアのニーズに応えることができるようになると同っている。</p> <p>ただ、一点懸念するのは、特別支援学校は横浜市でも神奈川県でも設置することになるが、横浜市の場合、障害の特性に合わせて個別対応をするが、県の場合はインクルーシブで、重度の子も軽度の子も一緒に対応するという扱いになっている。</p> <p>この中里も、インクルーシブ教育を進めていく施設になるのか。</p> <p>大野神奈川県 教育委員会教 育局支援部特 別支援教育課 副課長 インクルーシブ教育は、特別支援学校ではなく、小学校・中学校・高校全部で行っている。</p> <p>こちらの中里の跡地の学園は、基本的に肢体・知的障害のある方で特別支援学校に入学適という方については受け入れをしていく。障害の軽い方とか重い方に特化するというものではない。</p> <p>山下議員 医療的対応とまでは言わないが、例えば痰の吸引が必要であるといった、少し障害の程度が重い子供達も一緒に受け入れていただける施設になるのか。</p> <p>大野神奈川県 教育委員会教 育局支援部特 別支援教育課 副課長 基本的に今、医療ケアが必要な子が大分増えている。こちらの学校でも対応していくものと考えている。</p>